



たかみらいふ！

～「たかみ」「みらい」「らいふ」～



文責：コミュニティ・スクール推進員 大空秀文

「たかみらいふ！」は、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深め、学校づくり、地域づくり、自分づくりを推進するために、コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校について、地域に関わる歴史、人物等をこのまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。タイトル「たかみらいふ！」には、「高美が丘小・中学校を意味する「たかみ」「まちの未来を意味する「みらい」「地域での生活を意味する「らいふ」という言葉があり、小・中学校と地域がさらにつながり、輝く未来を生きていこう！という思いを込めています。

高美が丘小学校、中学校が

コミュニティ・スクールになりました！

「たかみらいふ！」第1号では、これまでの高美が丘の学校と地域のつながりと新たに導入されたコミュニティ・スクールについてご紹介します。

○高美が丘の学校と地域のつながり

これまで、高美が丘小・中学校と地域は、学校と地域が連携・協働することで、地域が学校活動を応援し、学校が地域づくりに貢献してきました。そのなかで、学校と地域との間に「つながり」が生まれています。高美が丘の学校と地域のつながりは、建校された当初から企図されており、それぞれの学校の校章には、次のような思いが込められています。校章の解説（「高美が丘小学校、高美が丘中学校 創立20周年記念誌」より）

高美が丘小学校



本校の校章は、校舎建設が進む中、分離統合の対象となる高屋西小学校と高屋東小学校の保護者全員から募集されて決定された。校章の緑の葉（ケヤキ）は、高美が丘を中心に高屋堀と杵原の2つの地域で包み込み、”和”を大切にすることを進める新しい地域の人々の「和合」を象徴している。

高美が丘中学校



校章の3つの先端は、『知』『徳』『体』を表し、この知育・徳育・体育の習得を目指して努力すること、また、高屋堀、杵原、高美が丘の3地域が力を合わせ協力することを意味している。校章の中の『高』は、高屋町・高美が丘の地名にある『高』と知・徳・体の3つの理想を高く掲げることを意味する。

校章には、地域の人々の「和合」や3地域の「協力」という言葉のように、学校だけでなく、学校と地域、学校を通して地域の人たちを結び付けようとする思いが込められており、今では、「高美が丘プロジェクト」や「緑化活動」などの取り組みに反映されています。そのようななか、今年度、高美が丘小学校・中学校は新たにコミュニティ・スクールになりました。

○コミュニティ・スクールとは？

コミュニティ・スクールとは、学校や保護者・地域の皆さん、子どもたちが「子どもたちがこんな風に育ってほしい」、「自分たちが暮らす地域をこんな地域にしていきたい」など、ともに思いや知恵、声を出し合い、学校だけでなく、地域が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、人びとが暮らす地域を創り上げていく学校のことです。学校と地域が協力し「学校づくり」「地域づくり」を推進し、両者の「つながり」をより一層、深めるための仕組みです。

さらに、このような「学校づくり」や「地域づくり」に加えて、高美が丘小学校・中学校のコミュニティ・スクールでは、「自分づくり」を目指しています。「自分づくり」とは、地域に生まれ育った人や、地域に定住することはないものの、ひと時を地域の人とともに過ごし変化をもたらす人（教職員、NPO、ボランティア等）、地域で暮らし未来に開かれた子どもたちが、異なる考えや文化、目指すものをもつ中で、ともに関わり、時に葛藤しながら学び合い、他でもない“自分”をつくり上げていくことです。このように、高美が丘小・中学校のコミュニティ・スクールでは、子どもたちだけでなく大人も、ともに学んでいくことを目指しています。

このまちには、これまで積み重ねてきた歴史、学校と地域が築き上げてきた「つながり」があります。コミュニティ・スクールになったことは、全く新たなことを進めていくものではありません。これまでの歴史を見つめ、それを受け継ぎ、そして未来に向かって歩んでいこうとすることです。



地域の皆様、はじめまして

大空秀文（おおそら ひでふみ）と申します。

推進員としてこれから、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深めていけるよう精進いたします。

高美が丘小・中学校に赴任してまだ日が浅いため、みなさんの地域のことについて分からないことや知らないことがたくさんあります。これから、たくさんのことをぜひお教えてください。



高美が丘小学校・中学校

コミュニティ・スクール推進員 大空 秀文